

京都学ラウンジミニ講座 関連資料紹介コーナー

江戸時代の御土居の姿

令和8年8月5日(水)～令和8年9月1日(火)

令和8年8月6日(木)・20日(木)・27日(木)に開催される、京都学ラウンジミニ講座「江戸時代の御土居の姿」に関連して、資料紹介コーナーを設置します。今回は御土居に関する資料を中心にをご紹介します。講座の予習や復習にお役立てください。

御土居に関する資料				
No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
1	京都「御土居絵図」がいざなう地域の身近な歴史探検：平成21年度文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業報告書	岩崎奈緒子執筆・編集 京都大学総合博物館	2010	K1 291.62 I96 110970718
2	京都を学ぶ：文化資源を発掘する，洛中編	京都学研究会編 ナカニシヤ出版	2026	K0 291.62 Ky6 118042031
	松吉祐希「洛中を囲う、御土居」pp.88-105、「コラム1 御土居と障子堀」pp.106-107			
3	京都府史蹟勝地調査会報告，第2冊，再版	京都府史跡勝地調査会編；[京都府史跡勝地保存委員会編] 京都府	1931	K0 291.62 Ky6 2 110569325
	「御土居」pp.1-39			
4	桃山の開花（京都の歴史；4）	京都市[編] 学芸書林	1969	K1 291.62 Ky6 4 110213838
	「第3章第3節 お土居と寺町」pp.286-320			
5	京都 秀吉の時代：つちの中から：京都市考古資料館開館30周年記念	京都市埋蔵文化財研究所監修 ユニプラン	2010	K1 216.204 Ky6 110971819
6	御土居跡（京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告；2016-11）	京都市埋蔵文化財研究所編 京都市埋蔵文化財研究所	2017	K1 210.025 Ky6 16-11 118002983
7	天下人の城，改版（京都市文化財ブックス；第31集）	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課編集 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課	2023	K1 521.823 Ky6 118032531
	「第4章(3) 御土居跡」pp.54-59			
8	秀吉の天下普請：御土居跡	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課編集 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課	2025	K1 216.2 Ky6 118039165
9	秀吉の京都（建都1200年にむけて第3回特別展）	京都市歴史資料館編 京都市歴史資料館	1992	K1 216.2 KY6 110569552
10	建築家秀吉：遺構から推理する戦術と建築・都市プラン	宮元健次著 人文書院	2000	K1 521.48 Mi77 110903739
11	肥前名護屋城と「天下人」秀吉の城：平成二十一年度佐賀県立名護屋城博物館特別企画展	佐賀県立名護屋城博物館編 佐賀県立名護屋城博物館	2009	210.49 N27 110966033
12	京都惣曲輪御土居跡の推定	中村武生著 [仏教大学学会]	[1995]	K1 216.204 N37 110569580
13	京都大学文学部博物館蔵「京都惣曲輪御土居絵図」の基礎的考察：近世京都における御土居の存在意義をめぐって	中村武生著 [ナカニシヤ出版]	[1997]	K1 216.2 N37 110581390
14	御土居堀ものがたり	中村武生著 京都新聞出版センター	2005	K1 216.204 N37 110942958
15	京都惣構「御土居堀」の啓発とまちづくり計画：御土居堀研究会の活動	中村武生著 [大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター]	[2006]	K1 216.204 N37 110946374
16	角倉一族とその時代	森洋久編 思文閣出版	2015	K0 288.3 Su63 110993956
	中村武生「御土居敷と角倉与一」pp.301-322			

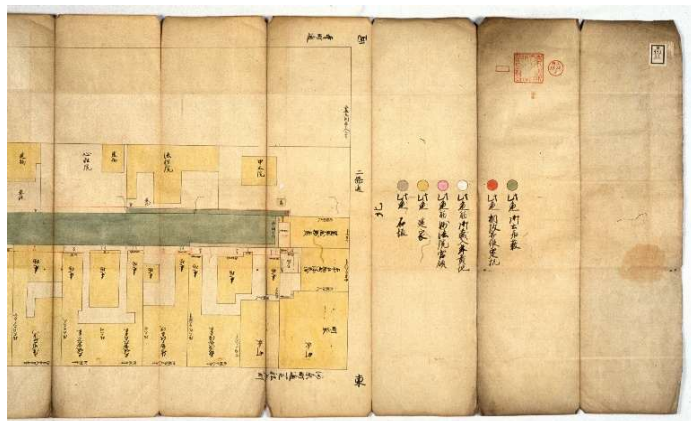
17	京都の都市共同体と権力 「第八章 都市の惣構と「御土居」」pp.226-248	仁木 宏著 思文閣出版	2010	K1 216.2 N73 110969410
18	豊臣秀吉と京都：聚楽第・御土居と伏見城	日本史研究会編 文理閣	2001	K1 216.204 N71 110903770
19	豊臣秀吉事典 石田孝喜「お土居」pp.196-211	杉山 博〔ほか〕編 新人物往来社	1990	210.48 To93 110501075

参考

『從二条通松原通迄御土居地御園意齋買得地渡裏書繪圖』

御土居は、豊臣秀吉が天正19(1591)年に築造した、京都の市中を取り囲む土塁である。江戸時代中期になると御土居のとりこわしが進み、その一部は住宅地や道になったりした。特に、市街の東側、鴨川沿いの部分で顕著であった。この絵図は、享保17(1732)年に、河原町通と寺町通の間、二条通から松原通までの御土居地を、御園意齋という京都の鍼灸医が買得した際に作成された御土居絵図である。御園家は鍼灸術の名医として天皇や徳川将軍に召された。代々意齋を号としたが、当時の四代意齋(常倫)は特に霊元天皇の厚遇を得たという。

(解説、画像：京都府立京都学・歴彩館歴史資料アーカイブより)



京都学ラウンジ ミニ講座 「江戸時代の御土居の姿」

2026年 8月 6日(木) 13:30~14:15

第1回 御土居の形成

2026年 8月20日(木) 13:30~14:15

第2回 御土居の利用

2026年 8月27日(木) 13:30~14:15

第3回 「御土居絵図」にみる御土居

講師：三好 志尚(京都学推進課)

場所：京都学・歴彩館1階小ホール

定員：70名(当日受付・無料)

主催：京都学推進課(075-723-4835)